

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	124100	空港利用促進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	2	公共交通の確保			
目的	いわて花巻空港の利用促進					
対象	いわて花巻空港の利用者					
意図	いわて花巻空港の利用者増加を図る					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○空港利用促進関係団体への支援 1,823千円 ・岩手県空港利用促進協議会等への負担及び補助、並びに連携して利用促進活動を実施 ○要望活動・PR活動 370千円 ・新規路線就航及び増便にかかる要望活動、就航先都市でのPR活動 ○空港利用者アンケート 0千円 ・県実施の空港利用者アンケートの結果を活用することとし、市独自の実施を見送り ○台湾チャーター便の利用促進 88千円 ・台湾チャーター便を利用する旅行者への費用助成						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	航空会社、国等への要望活動	回	計画	10	10	
			実績	7	11	
②	利用促進協議会等関係団体との協議、検討会	回	計画	10	10	
			実績	10	11	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	花巻空港利用者数	人	目標	404,000	423,000	
			実績	417,130	440,749	
②	チャーター便利用者数（花巻空港利用者内数）	人	目標	25,000	8,000	
			実績	8,642	23,013	
③	定期便路線数（国内、国際）	路線	目標	4	4	
			実績	4	4	
成果指標の達成度	○ 目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
花巻空港利用促進のため、就航都市との交流やPRキャラバンを実施した結果、目標値を超える利用者実績となった。 また、チャーター便利用者数については、平成28年度に台湾との定期チャーター便が休止となったことから、平成29年度の目標値を低めに設定していたが、平成29年度の国際チャーター便が過去最高となる165便の運航があったことから、目標値を超える利用者実績となり、花巻空港の利用促進に大きく寄与した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	観光客、ビジネス客が花巻市に訪れるための公共交通であるが、利用促進等PR活動を展開しないと利用率の低下が懸念され、路線の便数減や運休に繋がる恐れがあることから、岩手県や市、関係機関が連携して利用促進活動に取り組む必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	花巻空港整備が終了（H23.7より供用開始）し、大幅な機能向上が図られた。このことから、国際線のチャーター便就航や定期路線開設に向けた取り組みや、花巻空港の利便性のPRを、関係機関と連携を図りながら進めていく。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	関係団体の活動見直しを提言するなどして一本化できる活動等があれば、負担金補助金を削減する余地はある。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	花巻空港の利便性向上は、花巻空港を利用する全ての方に受益があり、公平・公正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
これまでの活動成果として、大阪便、札幌便、名古屋便が複数便化や台湾定期チャーターの運航が実施され、花巻空港の利便性が向上した。PR不足による利用率低下は、路線運休に直結することから、利用促進のため利便性のPR活動等は今後も重要であり、関係機関と引き続き連携を図っていく必要がある。		

# 平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 観光課 担当係長 畠山 英俊 内線 290

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	124100	空港利用促進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,310	2,281		△ 29
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,310	2,281		△ 29

※特定財源の内訳
----------

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標  
いわて花巻空港の利用を促進させます

事業開始の背景・経緯  
花巻空港は、当市に所在する岩手県の空の玄関口として、市民・県民生活の利便性向上や経済発展に大きく寄与しているが、より一層の機能強化と利用促進のため、各協議会へ加入し一体となって活動することが重要である。

事業概要

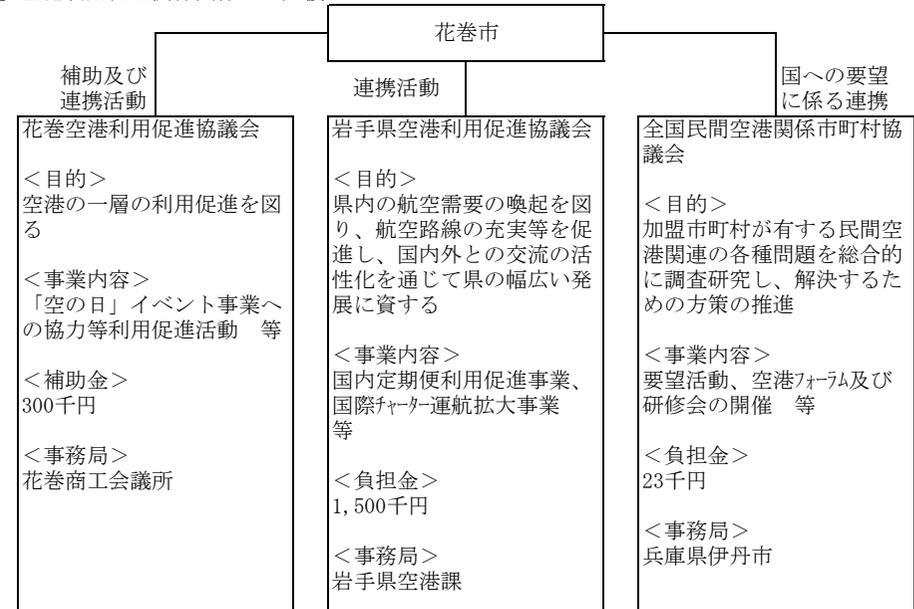
- 空港利用促進関係団体への支援 1,823千円
  - ・岩手県空港利用促進協議会等への負担及び補助、並びに連携して利用促進活動を実施
- 要望活動・PR活動 370千円
  - ・新規路線就航及び増便にかかる要望活動、就航先都市でのPR活動
- 空港利用者アンケート 0千円
  - ・県実施の空港利用者アンケートの結果を活用することとし、市独自の実施を見送り
- 台湾チャーター便の利用促進 88千円
  - ・台湾チャーター便を利用する旅行者への費用助成

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

## ① 空港利用促進関係団体への支援



## ② 要望活動、PR活動 370千円

全国民間空港関係市町村協議会関係（総会、国要望活動、空港フォーラム等）  
就航先都市でのPR活動（名古屋、福岡）他

## ③ 空港利用者アンケート 0千円

県実施の空港利用者アンケートの結果を活用することとし、市独自の実施を見送り

## ④ 台湾チャーター便利用促進事業補助金 88千円

- ・事業主体 花巻空港利用促進協議会
- ・対象 平成30年1月～3月までに、花巻空港発着の台湾チャーター便を往復で利用する花巻市民および花巻市内の企業
- ・助成金額 5,000円/人
- ・事業実績 **88千円**
  - 内訳) 助成金 80千円 (16人×5,000円)
  - 事務費 8千円

## 平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	07	124300	<b>公共交通確保対策事業費</b>	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	2	公共交通の確保			
目的	コミュニティバスの運行や民間路線バスへの補助を行い公共交通サービスを確保するため					
対象	公共交通を必要とする市民					
意図	利用しやすい公共交通サービスを提供する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> コミュニティバス運行委託 市営バスの運行委託 <input type="checkbox"/> コミュニティバス運行補助 市街地循環バスふくろう号、大迫・花巻地域間連絡バス、大迫地域公共施設連絡バス、予約乗合タクシー（石鳥谷・東和地域、湯口地区）の運行補助金の交付 <input type="checkbox"/> 広域生活路線バス運行費補助 民間路線バス事業者が運行する路線バスに対し補助金の交付 <input type="checkbox"/> 啓発用時刻表等作成 バス時刻表の作成など						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	コミュニティバス利用者数	人	計画	85,000	85,000	
				実績	78,058	77,841
②	予約応答型乗合交通利用登録者数	人	計画	1,700	1,700	
				実績	1,814	1,899
③			計画			
				実績		
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	市内の公共交通機関が利用できる市民の割合	%	目標	77.7	77.7	
				実績	73.7	74.9
②			目標			
				実績		
③			目標			
				実績		
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
路線バスの利用者が減少傾向にある中で、ふくろう号や大迫花巻地域間連絡バス、予約応答型乗合交通などのコミュニティバスの運行により、公共交通を必要とする市民等の移動手段を確保することができた。 また、1便当たりの利用者数が1人未満となっていた東和地域の市営バスを廃止し、より効率的で利便性の高い予約乗合バスを導入し、効率的な公共交通への移行を図った。 平成29年6月に公共交通施策のマスタープランとなる花巻市地域公共交通網形成計画を策定し、今後は本計画に基づいた事業を実施していく。		
目的 妥当性	公共関与の妥当性	公共交通サービスは、交通弱者の移動手段の確保のみならず、市民の日常生活における利便性の向上や市街地の活性化に資するものであり、公共関与は妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	公共交通を必要とする市民が利用しやすい運行経路やダイヤ設定となるよう、利用者ニーズの把握に努め地域との協議を行うことで、成果の向上が期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	民間路線バスの廃止等に伴い、利用者の予約に応じて運行する予約応答型乗合交通の導入を進め、効率的な公共交通サービスの提供を推進している。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	コミュニティバスの運行にあたっては、利用者ニーズの把握に努めたくて運行便数を決定しているため、受益機会は適正である。また、運賃については、定時定路線型は利用距離、区域型は利用区域に応じて設定していることから公平性は適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括 路線バスの利用者が減少傾向にある中で、ふくろう号や大迫花巻地域間連絡バス、予約応答型乗合交通などのコミュニティバスの運行により、公共交通を必要とする市民等の移動手段を確保することができた。特に、東和地域においては、平成29年10月から1便当たりの利用者数が1人未満となっていた市営バスを廃止し、より効率的で利便性の高い予約応答型乗合交通「予約乗合バス」を導入し、効率的な公共交通への移行を図った。今後は、必要な人が利用できるようにより周知及び利用促進に努める必要がある。 また、大迫地域においては、平成30年度に地域内を運行する民間バス路線が廃止されることから、地域住民の生活交通を確保するため、石鳥谷地域と東和地域と同様の「予約乗合バス」を平成30年10月から導入予定としており、地域住民との意見交換を複数回行って周知を図った。今後は、導入にむけた関係機関との調整や市民への利用方法などの十分な周知を行う必要がある。 平成29年6月には、市の公共交通施策のマスタープランとなる花巻市地域公共交通網形成計画を策定した。今後は、本計画に基づき、幹線路線の維持やふくろう号の見直し、予約応答型乗合交通の運行などに取り組んでいく。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	07	124300	公共交通確保対策事業費

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		96,075	89,299		△ 6,776
財源内訳	国・県	2,498	2,958		460
	地方債	23,900	28,600		4,700
	その他	2,371	1,642		△ 729
	一般財源	67,306	56,099		△ 11,207

※特定財源の内訳

- 県補助金（地域バス交通支援2,532千円、地域公共交通活性化推進426千円） 2,958千円
- 市債（過疎対策債） 28,600千円
- 使用料（市営バス使用料） 616千円
- 雑入（市営バス事務所等使用料） 1,026千円

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標  
公共交通の利便性を図ります

事業開始の背景・経緯

バス利用者数の減少による民間路線バスの撤退、市街地の活性化や合併による直通バスの確保などの課題に対し、公共交通を必要とする市民等にとって、利用しやすい公共交通サービスを提供

事業概要

- バス等運行业務委託  
大迫地域公共施設連絡バス、市営バスの運行委託
- バス等運行业務補助  
市街地循環バスふくろう号、大迫・花巻地域間連絡バス、中部病院連絡バス、予約乗合交通（石鳥谷・東和地域、湯口地区）の運行補助金の交付  
民間路線バス事業者が運行する路線バスに対し補助金を交付
- 啓発用印刷物作成等  
バス時刻表の作成など

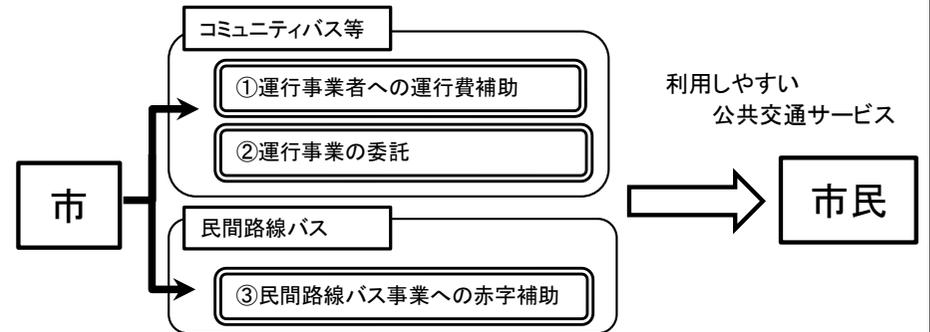
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

・東和地域で運行している区域運行のデマンド交通を10月から当日予約に対応した新システムへ変更し運行を実施。併せて、東和地域においてはデマンド交通の利便性向上に伴い、市営バス運行业務を廃止し、スクール専用運行に転換した。  
・平成30年度に大迫地域内の路線バスが廃止されることに伴い、同地域の住民の生活交通を確保するため、地域説明、地域との意見交換を重ね、事業計画を作成した。

担当部署 部名 建設部 課名 都市政策課 担当係長 高橋 内線 562

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



①コミュニティバス運行业務等委託 24,365千円  
市が決定した運行内容により運行业務者に対し運行业務等を委託 単

市営バス（5路線）※9/30で廃止	19,290	平日1往復・土日祝日2往復 ※一部変則あり
市営バス公金収納業務	459	市営バス運賃の収納業務
火災警報装置点検業務	11	市営バス事務所および車庫
ワテマツト交通システム運用管理業務	2,047	石鳥谷地域(1年)、東和地域(半年)
ワテマツト交通システム導入設定業務	963	東和地域
ワテマツト交通システム成果分析業務	298	石鳥谷地域
ワテマツト交通停留所設置業務	497	石鳥谷地域4か所、東和地域5か所
市営バス車両維持管理業務	264	
市営バス停留所撤去業務	346	不要バス停標識44個撤去廃棄
大迫公共交通確保事業計画策定支援業務	190	

②コミュニティバス等運行业務補助 62,364千円  
市が決定した運行内容により運行业務者が運行し、補助対象経費から運賃収入を差し引いた額(赤字)を補助

市街地循環バスふくろう号	5,117	1日10便（右回り5便・左回り5便）
大迫・花巻地域間連絡バス	16,951	平日4往復・土日祝日2往復
県立中部病院連絡バス	1,382	平日4往復
大迫公共施設連絡バス	266	平日1便
石鳥谷デマツト（区域運行）	9,856	現行：2エリア 週3日 フリー運行 H29.9月まで：2エリア、週3日、1日3便 H29.10月から：2エリア、週3日、フリー運行
東和デマツト（区域運行）	9,881	
湯口デマツト（定時定路線）	362	平日3日 1日3便
広域生活路線等補助	18,749	県補助路線2路線・市単補助路線5路線

③その他 2,370千円 単位：千円

報酬	60	花巻市地域公共交通会議委員報酬
旅費	163	交通まちづくり、その他出張
需用費	1,937	チラシ等印刷製本、市営バス事務所光熱水費等
通信運搬費	5	切手代(交通会議書面協議用)
土地借上料	205	市営バス回転所等土地借上料(4ヶ所)

平成 29 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	02	01	07	124300	公共交通確保対策事業費

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

■民間路線バス										H29.3.1現在
No.	種別	路線名	運行形態	料金形態	起終点	起終点	所要	市補助	その他補助	備 考
1	幹線	石鳥谷線	定時定路線	距離制	志和口	北上駅前	65		国・県各1/2	
2	幹線	土沢線	定時定路線	距離制	トヨカト	雲南桜前	40		国・県各1/2	H26.4.1路線縮小(晴山～雲南桜前・土沢中町～東和病院)
3	幹線	成田線	定時定路線	距離制	花巻北高	北上駅前	52	◎	県・市各1/2	北上市距離按分 花巻市分8.6km
4	幹線	大迫石鳥谷線	定時定路線	距離制	大迫BT	石鳥谷駅前	27	◎	県・市各1/2	
5	幹線	大迫紫波中央駅線	定時定路線	距離制	大迫BT	紫波中央駅	36	○		紫波町距離按分 花巻市分9.95km
6	支線	教育センター線	定時定路線	距離制	花巻駅前	教育センター	32	○		H26.4.1路線縮小(教育センター～新湯本温泉)
7	支線	栃内線	定時定路線	距離制	花巻駅前	尻平川	34	○		
8	支線	高木団地線	定時定路線	距離制	トヨカト	高木団地	15			H26.4.1路線再編(母衣輪線・更木線一部路線廃止)
9	支線	天下田団地線	定時定路線	距離制	天下田団地	花巻市役所前	14	○		
10	支線	長崎線	定時定路線	距離制	大迫BT	長崎	13			※補助対象系統の廃止により、補助路線から除外(H28～)
11	支線	太田線	定時定路線	距離制	花巻駅前	清風支援学校	17	○		H28.11.30高村記念館までの延伸等廃止(H29予算H28.10・11分補助)
12	支線	花巻北高線	定時定路線	距離制	花巻駅前	花巻北高前	10			
13	支線	堅沢線	定時定路線	距離制	大迫BT	堅沢	28			
14	支線	旭の又線	定時定路線	距離制	大迫BT	合石	26			
15	支線	黒森線	定時定路線	距離制	大迫BT	黒森	29			
16	支線	早池峰線	定時定路線	距離制	大迫BT	岳	37			
17	自主	湯口線	定時定路線	距離制	トヨカト	新鉛温泉	37			
18	自主	花巻温泉線	定時定路線	距離制	賢治詩碑前	台温泉	38			
19	急行	急行大船渡盛岡線	定時定路線	距離制	盛岡駅	県立大船渡病院	72			H26.9.20一部経路変更(高速利用東和経由)
20	急行	急行釜石盛岡線	定時定路線	距離制	盛岡駅	大槌中央公民館	184			
21	その他	花巻空港線	定時定路線	均一制	盛岡BC	花巻空港	60			

■自主運行バス									
No.	種別	路線名	運行形態	料金形態	起終点	起終点	所要	区分	備 考
1	幹線	大迫・花巻地域間連絡バス	定時定路線	距離制	大迫BT	花巻駅前	45	補助	平日4往復、土日祝2往復
2	-	県立中部病院連絡バス	定時定路線	距離制	花巻駅前	県立中部病院	24	補助	平日4往復 ※上記大迫・花巻連絡バスの延伸
3	支線	市営バス田瀬線	定時定路線	距離制	東和病院前	向田瀬	59	委託	平日 1往復 土日祝 2往復 ※H29.9.30廃止
4	支線	市営バス中内線	定時定路線	距離制	歴史資料館前	太田目	42		平日 2往復(火・水・金1往復) 土日祝 1往復 ※H29.9.30廃止
5	支線	市営バス小山田線	定時定路線	距離制	旧土沢小学校前	南川目	29		平日 2往復(火・水・金1往復) 土日祝 1往復 ※H29.9.30廃止
6	支線	市営バス山の神線	定時定路線	距離制	旧土沢小学校前	山の神	34		平日 1往復 土日祝 2往復 ※H29.9.30廃止
7	支線	市営バス浮田線	定時定路線	距離制	旧土沢小学校前	三坊木	33		平日 1往復 土日祝 2往復 ※H29.9.30廃止
8	循環	市街地循環バスふくろう号	定時定路線	均一制	トヨカト	トヨカト	48	補助	1日10便(右回り5便・左回り5便) 1回乗車100円 ※4便増便協議中
9	循環	公共施設連絡バス	定時定路線	無料	大迫BT	大迫BT	15		平日 1便
10	デマンド	石鳥谷地域予約乗合バス	区域運行	均一制	石鳥谷地域	河東地区	-	補助	週3日 8時から17時運行 400円 ※H29.2.1～
					石鳥谷地域	河西地区	-		週3日 8時から17時運行 400円 ※H29.2.1～
					東和地域	北部地区	-		週3日 8時から17時運行 400円 ※H29.10.1～
					東和地域	南部地区	-		週3日 8時から17時運行 400円 ※H29.10.1～
12	デマンド	湯口地区予約乗合タクシー	定時定路線	距離制	野田十文字	上円膝	10		週3日 1日3便 ※県交通鍋倉線廃止に伴いH26.4.1から試験運行

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	04	05	184290	都市施設機能改善事業費(取りまとめ)	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2 生活基盤の充実				
	施策	2 公共交通の確保				
目的	安全で快適に利用できる都市施設環境を提供するため、施設の機能改善整備を行う。					
対象	一般市民、近隣市町村民、新幹線及び釜石線等鉄道利用者					
意図	目的外利用者や放置自動車の抑制を図り、駅利用者の利便性を向上させる。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
【新花巻駅】						
○駐車場整備						
・新花巻駅西駐車場整備工事、市道胡四王一丁目環状線付替え工事						
舗装工 (3,022㎡)、防護柵工 (141m)、縁石工 (139m)、上水道管撤去等						
○駐車場誘導案内看板設置						
・駐車場全体配置図 1枚、各駐車場への誘導看板 6枚 (東・西・送迎用駐車場) ・駐車場整備工事						
【石鳥谷駅】						
・駐車場整備工事						
舗装工 (2,352㎡)、柵工 (176m)、区画線工 (695m)、照明灯設置 (2基)						
・電力移設補償 (2本)						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	工事発注件数	件	計画	1	2	
			実績	1	2	
②	誘導案内看板設置数	基	計画		3	
			実績		9	
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
/		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	不特定多数の人が利用する交通広場の施設改善は管理者である市が行うべき事業である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	照明など既存の施設・設備を改修することにより、より快適で利便性の高い交通広場環境の創出することができる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	適切な設計による妥当な事業費であり、また、職員が行うのは現場確認・発注・監督等必要最小限の業務であることから削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	有料駐車場は設置意図に則した適切な料金を利用者から徴収し維持管理費に充当していることから見直し余地はない。
総合評価 …上記評価結果の総括		
平成29年度の事業は目的・手法とも適切で妥当な内容であった。花巻駅・新花巻駅駐車場は、既存の施設・設備の一部が老朽化していることから、施設の利用状況・見込み、利用者の声、費用対効果などを踏まえ、駐車場の拡張整備も含めた駅前広場全体の整備・改修計画を策定する必要がある。		

# 平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 建設部 課名 都市政策課 担当係長 吉越 内線 566

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	04	05	184290	都市施設機能改善事業費(取りまとめ)

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		15,180	75,743		60,563
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	15,180	75,743		60,563

※特定財源の内訳

--

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標				
都市施設を適正に管理するとともに利便性の向上を図る。				
事業開始の背景・経緯				
放置自動車、マナー違反駐車、駅利用目的以外の駐車等が発生しており、適正な駐車場管理に向けた対策が必要となっている。				
事業概要				
【新花巻駅】				
○駐車場整備				
・新花巻駅西駐車場整備工事、市道胡四王一丁目環状線付替え工事 舗装工 (3,022㎡)、防護柵工 (141m)、縁石工 (139m)、上水道管撤去等				
○駐車場誘導案内看板設置				
・駐車場全体配置図 1枚、各駐車場への誘導看板 6枚 (東・西・送迎用駐車場) ・駐車場整備工事				
【石鳥谷駅】				
・駐車場整備工事				
舗装工 (2,352㎡)、柵工 (176m)、区画線工 (695m)、照明灯設置 (2基)				
・電力移設補償 (2本)				
意見・要望等の状況 (市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)				
・マナー違反駐車や放置車両等が見られるので、有料化して環境整備を実施してほしいとの声がある。				
・わかりやすい駐車場位置表示を求める声がある。				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

## ●新花巻駅 41,342千円

### 《経費の内訳》

科目(節名称)	内訳・積算
13 委託料	告知看板設置業務 (工事期間中の利用休止看板等設置) 167千円
	駐車場誘導案内看板設置業務 (位置及び料金を表示) 1,192千円
	測量設計業務 (市道及び駐車場の設計業務) 2,549千円
	用地測量業務 (市道付替えに伴う分・合筆) 887千円
15 工事請負費	上水道管撤去業務 (駐車場内への引込管撤去) 323千円
	駐車場整備工事 (舗装工、柵工、区画線工等)、道路付替え工事 (市道胡四王一丁目環状線) 35,708千円
	補償費
22 補償費	上水道管移設補償 (市道付替えに伴う補償) 516千円

### 《実施スケジュール》

測量設計 (4-7月) → 工事 (9-12月) → 有料での供用開始 (H29.12.27)

### 《駐車台数》

西第1駐車場：81台増加 (整備前216台 → 整備後297台)



平成 29 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	04	05	184290	都市施設機能改善事業費(取りまとめ)

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

●石鳥谷駅 34,401千円

《経費の内訳》

科目(節名称)	内訳・積算	
15 委託料	案内看板設置	875千円
15 工事請負費	駐車場整備工事(駐輪場移設・舗装工・区画線工等)	33,068千円
22 補償費	電柱移設補償	459千円

《事業実施計画》

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
整備計画・協議												
駐車場整備工事												
自動精算機管理委託(一般行政経費に計上)												

